

試験実施日 年 月 日

住所

氏 名

設置場所	設置階	防 護 対 象 物 の 種 別						
放出方式	固定式 全域放出方式 局所放出方式				設計放出時間			sec
	移動式				設計放出時間			sec
試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結果
外 観 試 験	貯 蔵 消 火 剤 等				種別		量	kg
	貯蔵容器等	設置場所等	設 置 場 所		_____			
			表 示 ・ 標 識		_____			
		機 器	蓄圧式	貯 蔵 容 器		_____		
				容 器 弁		_____		
				容器弁開放装置		_____		
			加圧式	貯 蔵 タ ン ク		_____		
				定圧作動装置		_____		
			充 填 比		_____			
			安 全 装 置		_____			
			加圧用ガス 容器	設 置 場 所 等			_____	
		機 器		加 圧 容 器		_____		
				容 器 弁		_____		
				容 器 弁 開 放 装 置		_____		
		加圧用ガス		種 別		_____		
ガ ス 量				_____ kg				

試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
外 観 <						

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結 果
外 観 試 験	配 管 ・ バルブ類	操 作 管 ・ 逆 止 弁	———			
		構 造 ・ 材 質	———			
		口 径 ・ 使 用 数 等	———			
		安 全 装 置	———			
	噴射ヘッド	設 置 場 所 等				
		構 造 ・ 性 能	———			
	防護区画等	防 護 区 画	———			
		開 口 部 の 自 動 閉 鎖 装 置 等	———			
		消 火 剤 を 付 加 す る 開 口 部 面 積	———			
		消 火 剤 流 出 防 止 措 置	———			
	電 源	常 用 電 源	V			
		非 常 電 源 の 種 別	自家発電設備・蓄電池設備・燃料電池設備			
	ノズル・ ホース等	設 置 位 置	———			
		構 造 ・ 性 能	———			
		表 示 灯 ・ 標 識	———			
機 能 試 験	耐 震 措 置		———			
	作 動 試 験	防 護 区 画				
		容 器 弁 開 放 装 置 の 作 動 試 験				
		※ 容 器 弁 の バ ル ブ 類 の 開 放 試 験				
		選 択 弁 作 動 試 験				
		制 御 装 置 試 験	遅 延 時 間			
			非 常 停 止 機 構 作 動 状 況			
			音 響 警 報 先 行 作 動 状 況			
			自 動 ・ 手 動 切 替 作 動 状 況			
		警 報 装 置 試 験	起 動 装 置 に よ る 作 動 状 況			
			警 報 鳴 動 状 況			
			音 量			
			音 声 警 報 装 置 作 動 状 況			
			自 動 警 報 作 動 状 況			
		附 属 装 置 連 動 試 験	作 動 状 況			
			復 旧 操 作 状 況			

[illegible]

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「不活性ガス消火設備等の容器弁、安全装置及び破壊板の基準」（昭和51年消防庁告示第9号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。